

安達太良山の火山活動解説資料（平成20年6月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図2）

火山性地震は少ない状況が続いています。

火山性微動は観測されませんでした。

・噴気など表面現象の状況（図3）

若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラでは、沼ノ平火口付近の噴気は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図4～5）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

・熱活動の状況（図6～8）

10日から11日にかけて沼ノ平火口を中心とした現地調査を実施しました。その結果、沼ノ平火口の噴気活動、熱活動は低調な状態が続いていました。

沼ノ平南西変質地(Y-3)付近では、地熱域¹⁾が引き続き認められましたが、沼ノ平火口の噴気はほとんど観測されず高い所でも3m程度でした。また、沼ノ平火口中央(Y-1)付近の噴気は観測されず地中温度²⁾も低い状態が続いていました。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) サーミスタ温度計による測定。サーミスタ温度計は、半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器です。

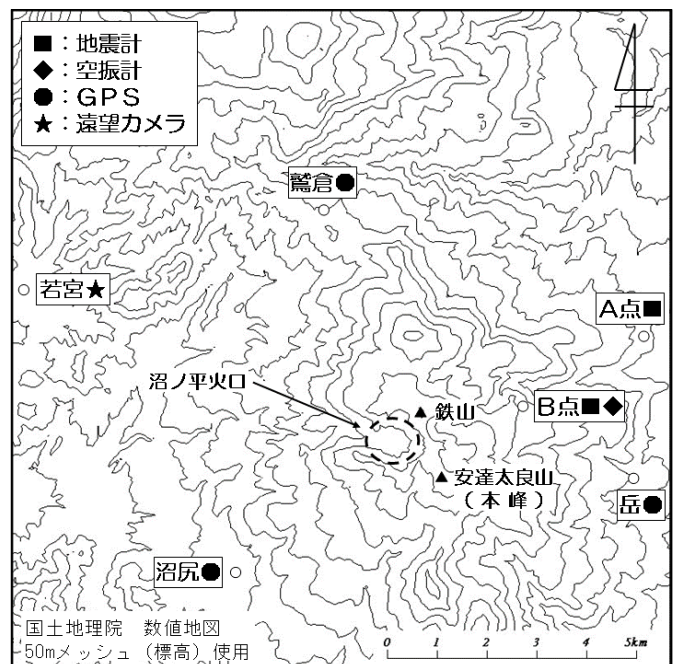


図1 安達太良山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.sendai-jma.go.jp/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（平成20年7月分）は平成20年8月8日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用しています（承認番号 平17総使、第503号）。

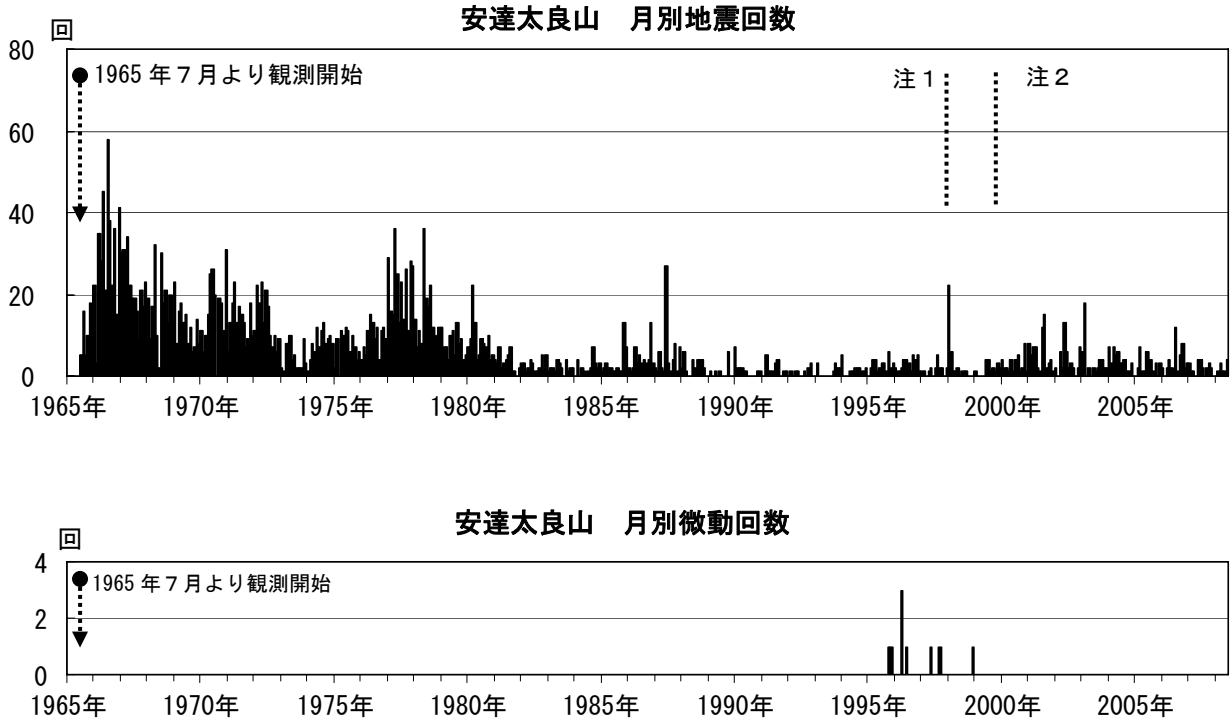


図2 安達太良山 月別地震回数および月別微動回数（1965年7月～2008年6月）

注1) 1998年より検出基準をS-P5秒以下からS-P2秒以下に変更しました。

注2) 1999年10月にB点を新設し、基準観測点をA点（沼ノ平から東北東約6km）からB点（沼ノ平から東北東約3km）に変更しました。

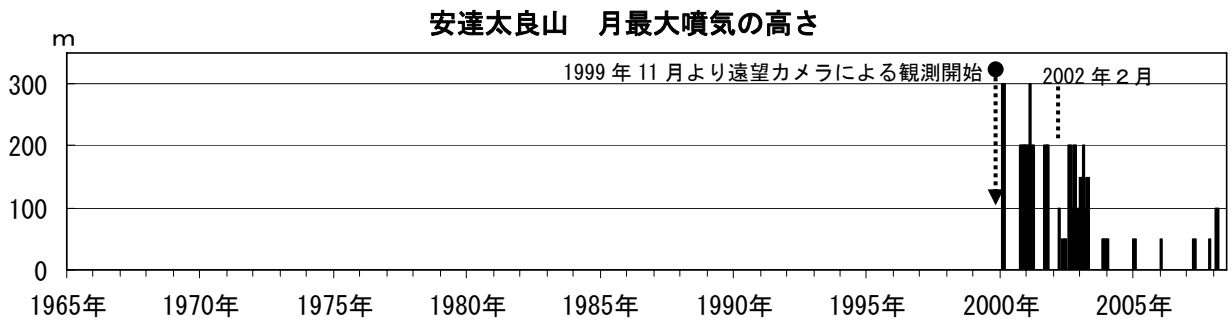


図3 安達太良山（沼ノ平）月別噴気高（1999年11月～2008年6月）

2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。

2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。

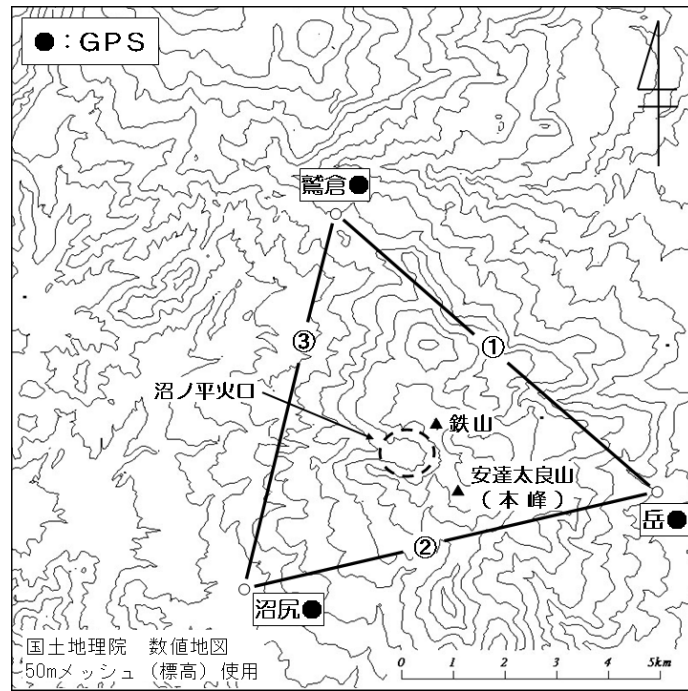


図4 安達太良山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～③は図5の①～③に対応します。

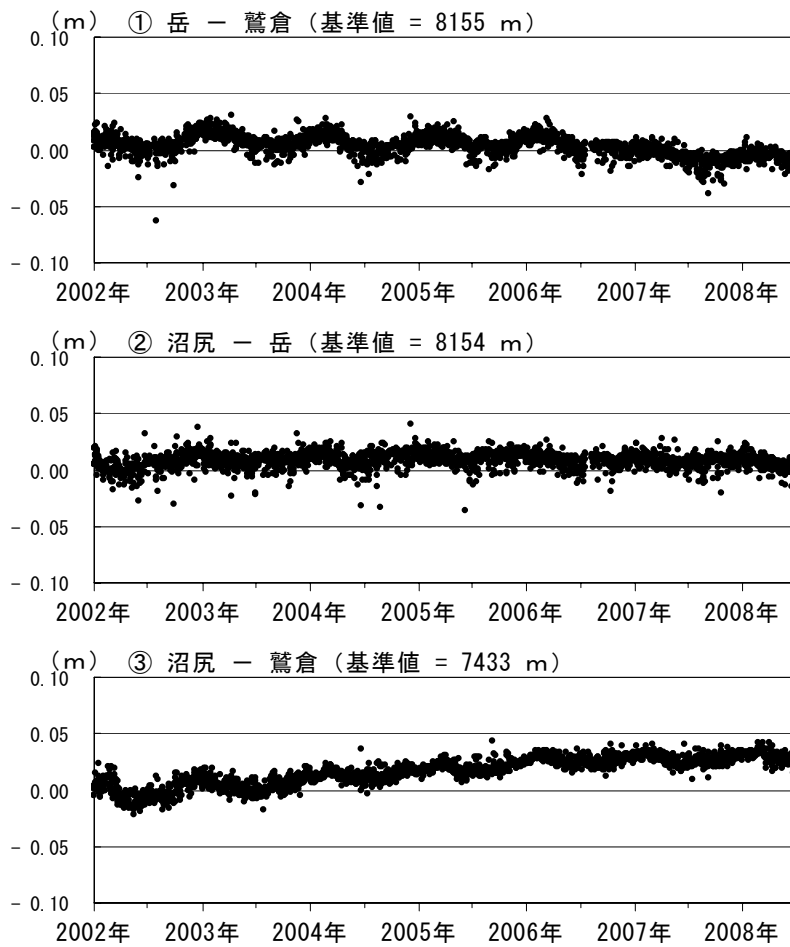


図5 安達太良山 GPS 基線長変化図 (2002年1月～2008年6月)

①～③は図4のGPS基線①～③に対応しています。

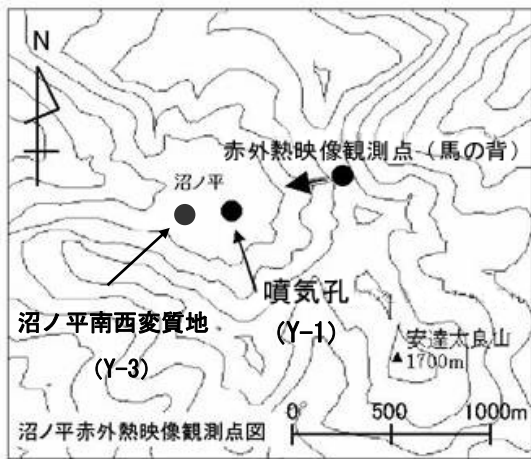


図 6 赤外熱映像観測点図

国土地理院 数値地図 50m メッシュ (標高) 使用

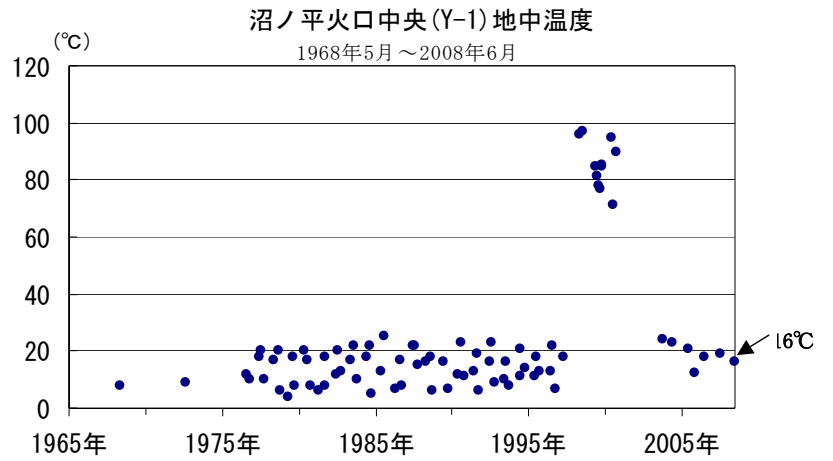


図 7 沼ノ平火口中央 (Y-1) の地中温度の変化図

(1968 年 5 月 ~ 2008 年 6 月)

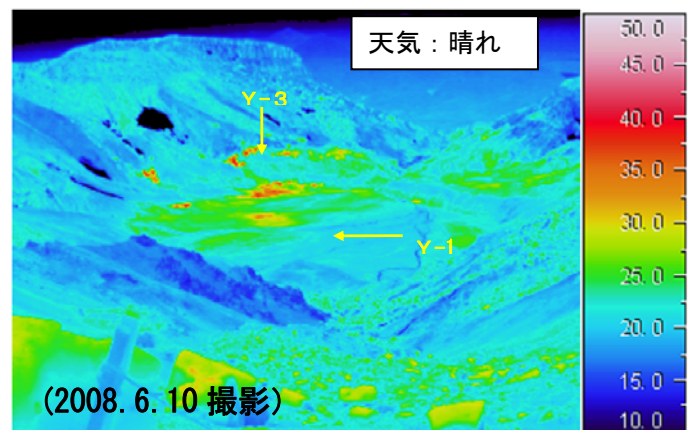
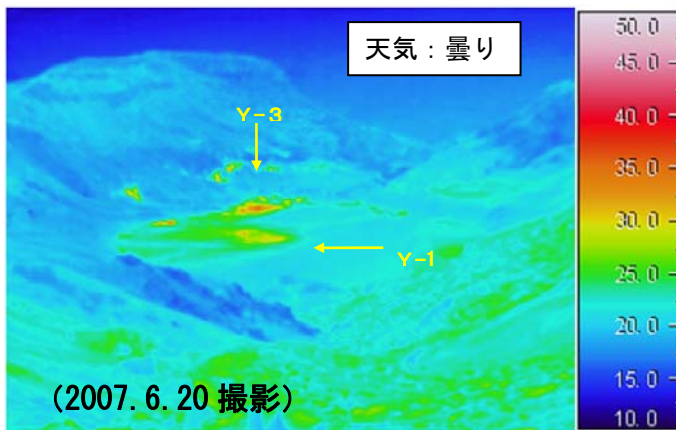
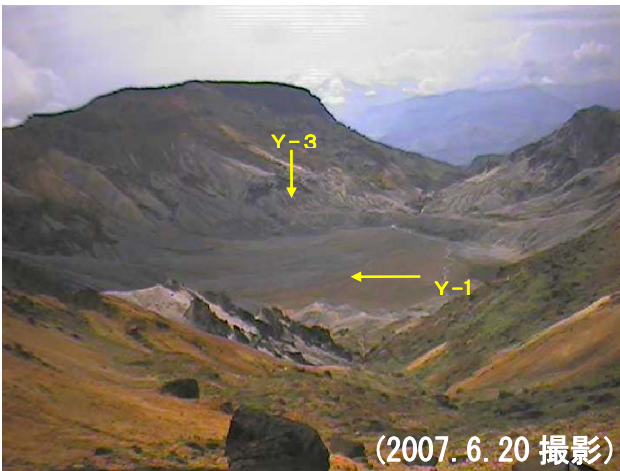


図 8 沼ノ平の可視画像 (上) と赤外熱映像画像 (下)